

善悪という命令ー1

本当に悪いのは、誰？



東郷 潤

新聞を読んで、悩んでいる人がいます。

う~~~~ん。

色々な意見があるものだなあ。



アフガン戦争 パレスチナ問題

米軍基地 テロ 拉致問題

尖閣諸島 死刑制度

冤罪 中絶 アニマルライト

政治と金 地球温暖化

...

お互い非難しあって
いるけれど…、
どっちが悪いんだろう？



本当に悪いのは、
誰なんだ？



ところで、彼は、悪と戦わなければいけないと信じていました。子供のときから、ずっとそういう教育を受けて来たのです。

・・・そこで、彼の悩みを、彼の信念に従って書き直すと、こうなります。

**どっちと戦うべき
なんだろう？**

どっちが悪いんだろう？



**本当に戦うべき相
手は、誰なんだ？**

本当に悪いのは、誰なんだ？

誰かと戦う



**・・・選択は、
それだけですか？**

あとがき —絵本「本当に悪いのは誰？」

善悪という考え方／言葉は、本当に様々な錯覚を生み出します。そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(詳細は、下記WEBの絵本集、 弊著「善悪中毒」、「原爆への復讐」をご参照ください)。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010